

しまねコンピューターマッチング「しまこ」について

～11月から奥出雲町においても「しまこ」が閲覧可能になりました～

しまね縁結びサポートセンターでは、平成30年10月から有料会員制のコンピューターによるマッチングシステム「しまこ」を導入しています。「しまこ」を利用される場合には会員登録が必要です。また、閲覧にはサポートセンターのホームページから来所予約が必要です。

=「しまこ」に入会できる方=

島根県内にお住まいの方、県内にお勤めの方、又は島根県内に移住の意志や予定がある方で真剣に結婚を望まれる20歳以上の独身の方

=「しまこ」入会方法=

入会の申込と会員登録が必要です。詳しくは、しまね縁結びサポートセンターのホームページをご覧ください。

=奥出雲町での閲覧について=

閲覧日・時間：毎週木曜日 9:00～17:00(16:00受付最終)

閲覧会場：役場仁多庁舎 ※タウンホールへお越し下さい。

【申込み・お問い合わせ】

一般社団法人 しまね縁結びサポートセンター

松江センター 松江市殿町8-3 タウンプラザしまね2F

TEL:0852-61-1150 FAX:0852-61-2055



地域おこし協力隊の現場を訪ねて

今回ご紹介するのは、奥出雲ファンドレイザー（ふるさと納税企画運営）の土江隊員と奥出雲町まち・しごと・ひとセンター「奥サポ」（奥出雲町サイクリングターミナル内）の移住定住コーディネーター磯田隊員をご紹介します。

土江由起夫 隊員



どのようなお仕事をされていますか？

ふるさと納税の企画運営を担当しています。地域をPRして、寄附や関係人口を増やす仕事です。また、ガバメントクラウドファンディングを活用して、地域で「これやりたい!」という方々をバックアップしています。地域で「やりたい!」という方に出会うため、また、どのようにお手伝いができるかを普段から探しています。

ガバメントクラウドファンディングとは

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。奥出雲町では、この制度を活用して「室内用ホッケースティック」を購入しました。※P7に記事を掲載しています。

奥出雲町に住んだ感想は？

お米、舞茸、お酒など食べ物が美味しいです。残りの任期期間中は、イベントに参加したり、お手伝いをしたりしながら、町民として馴染めれば良いなと思っています。

江津市出身で、高校卒業後、10年間東京に住んでいた土江隊員。まちづくりに興味があり、UIターンフェアを訪れ、奥出雲町にIターンを決意。

どのようなお仕事をされていますか？

仕事を探している方に対し、仕事の紹介や職場見学のセッティングをしています。また、移住定住サイト「ディープタウン奥出雲」の運営を行っています。そして、移住定住とはいかないまでも、奥出雲町に興味を持ってもらう関係人口を拡大するために、奥出雲町の食材を使用したフードパーティーを開催し、松江や出雲、県外からのIターン者に参加してもらっています。

趣味は何ですか？

アクセサリ作家としても活動しています。イヤリングやアクセサリを地元農家さんが育てた花を押し花にし、樹脂で包んで作ったり、そろばんの珠で作ったり、その他にも、注文に応じて様々なアクセサリを作成しています。

磯田菜保子 隊員



松江市で会社員として勤務。家族と住むために奥出雲町で働くことを決意。



磯田隊員の手作りアクセサリ

土地取引の届出制度について

国土利用計画法により、一定面積（※）以上の取引（売買、交換等）をした場合は**契約締結日を含めて2週間以内**に取り引きした土地が所在する市役所又は町村役場へ届出が必要です。

※届出が必要な面積は次のとおりです。

- ① 市街化区域内の土地 2,000㎡以上
- ② ①を除く都市計画区域内の土地 5,000㎡以上
- ③ 都市計画区域以外の土地 10,000㎡以上

【お問い合わせ】

企画財政課 有線 31-5241 電話 54-2522

県庁用地対策課 電話 0852-22-5077



◆◆◆◆◆令和元年度宝くじコミュニティ助成事業◆◆◆◆◆

コミュニティ活動に必要な備品が整備されました

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のコミュニティの健全な発展を図るためのもので、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

今年度、助成事業により角自治会に除雪機及び倉庫が整備されました。なお、コミュニティ事業には、次の事業があります。

- ① 一般コミュニティ助成事業
- ② コミュニティセンター助成事業
- ③ 地域防災組織育成助成事業
- ④ 青少年健全育成助成事業
- ⑤ 地域づくり助成事業
- ⑥ 地域の芸術環境づくり助成事業
- ⑦ 地域国際化推進助成事業

【お問い合わせ】

地域づくり推進課

有線 31-5262 電話 54-2524



奥出雲町廃棄物処理施設への持込の際のお願い

<共通>

- 事前に分類表に従って**分別して**持込みしてください。
- 持込物の確認にご協力をお願いします。
- 場内では係員の指示に従ってください。

<仁多可燃物処理センター>

- 多量の布類**は、燃焼管理への影響が大きいため、**事前にひもで縛る等して持込み、ピット横の布団置場に置いてください。**

- 大きいもの**(布団、こたつ布団、カーペット、ござ等)
【1枚ずつひもで縛ってください】
- 薄いもの**(毛布、シーツ、カーテン、布類等)
【2～3枚ずつひもで縛ってください】
- 小さいもの**(衣類、枕等)
【袋に入れてください】

【お問い合わせ】

町民課町民グループ

有線 31-5108 電話 54-2510

仁多可燃物処理センター

有線 31-0896 電話 54-0896

仁多クリーンセンター

有線 20-0498 電話 52-0498



環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!! 「今どきの冷蔵庫は10年前と比べると約43%の省エネです」

皆さんの家には、冷蔵庫・冷凍庫が何台ありますか?3台以上は当たり前の奥出雲町ですが、中身の整理はしていますか?24時間働いている冷蔵庫は、1台で家電製品の電気代の中で1割以上消費しています。台数を減らすだけで節約できます。

古いものを大切にする気持ちは大切ですが、必要以上の台数があればそれだけ電気代は無駄になっています。それに、今の冷蔵庫は、10年前と比べると技術が進歩し約43%も年間消費電力量が少ないのです。古い冷蔵庫を処分することになったら、最後は、家電リサイクルにきちんと取り組んでいる業者に渡して、正しい処分をしてもらいましょう。



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナйт
(奥出雲町在住しまねエコライフサポーターの会)